

総合内科（循環器、血液、内分泌）

診 療

総合内科は、初診時に分類のはっきりしない各種の呼吸器内科や消化器内科に属さない疾患の診療を担当しています。各医師は内科一般に加え循環器内科・血液内科・内分泌内科に担当が分かれています。

循環器科は、高血圧・高脂血症・不整脈・虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、心不全などを診療しており、心臓超音波、各種心電図検査を行っています。

血液内科は血液のがん（造血器腫瘍：悪性リンパ腫・骨髄腫・骨髄異形性症候群）の抗癌剤による治療を行います。

内分泌内科は糖尿病や甲状腺疾患の診断治療を行っています。

検査・治療を行なった結果、循環器科での心臓カテーテル検査や、血液内科での造血幹細胞移植など当院では実施していない治療が必要な場合は、岡崎市民病院その他周辺の医療機関と良好な連携を保っており、患者さんの御希望も考慮して適切な施設へ御紹介致しています。

新型インフルエンザの入院を要する症例なども対応しています。

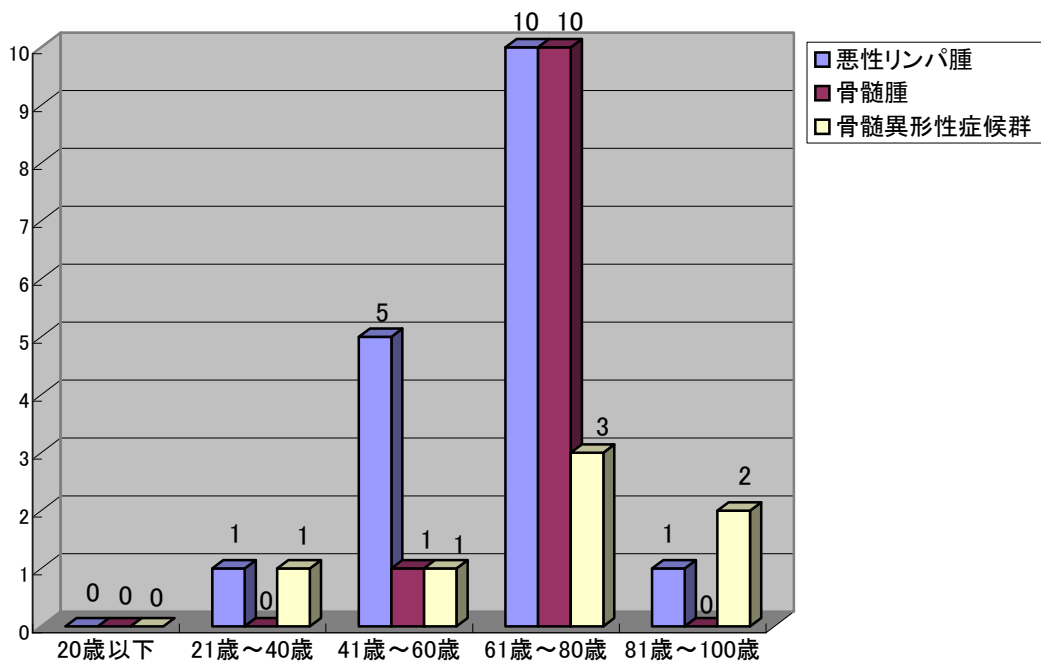
緩和病棟も設立されて4年目です。入院時に入退棟判定会議を行う関係で他の病棟より入棟に少し時間がかかりますが、弾力的運用を心掛け、病床の効率的な運用を目指して行きたいと考えています。

抱 負

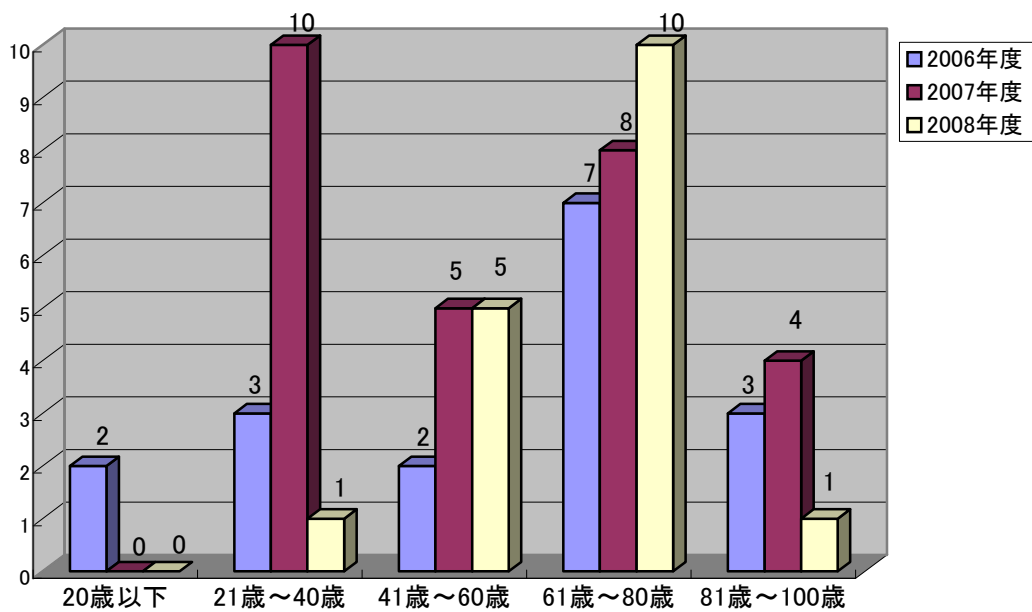
当院もがん専門病院として体制を組替えて、年々がんの患者さんの割合が増えています。一般病棟での癌の化学療法に加えて、痛みに対する対応など緩和病棟に転棟する前から緩

和治療は始まっていると言う事を念頭に、緩和責任者の橋本部長と協力して、患者様のサポートに勤め、昨年末から運用が開始された緩和デイケアの運用にも協力しています。

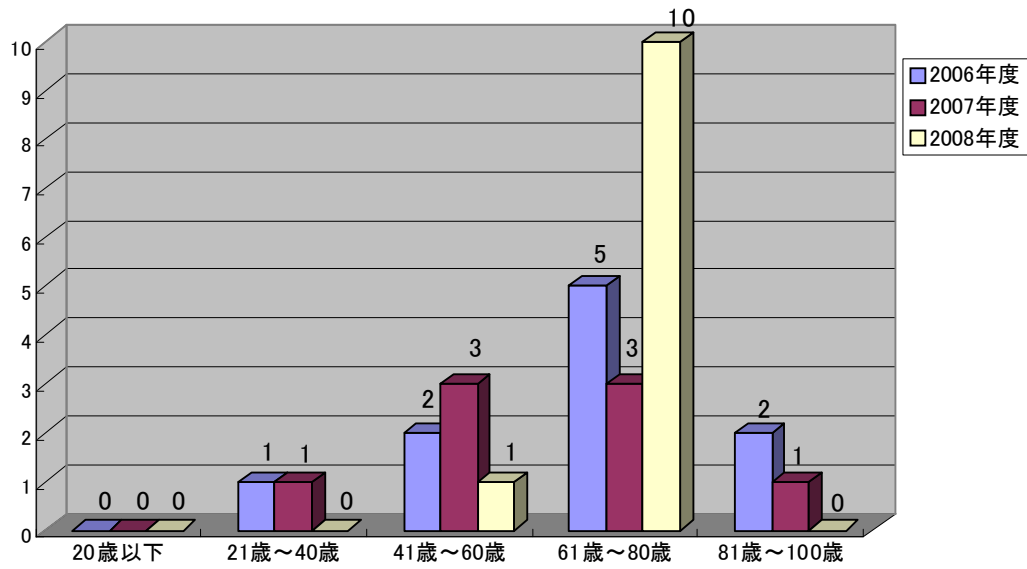
2008年度入院患者年齢分布



悪性リンパ腫患者年齢分布



骨髓腫患者年齢分布



骨髓異形性症候群患者年齢分布

